

子どもたちと学生のふれあいを通じた居場所づくり OIU・OICキッズキャンパス



大阪国際大学・大阪国際大学短期大学部
「学生主体企画」メンバー

目次

1. 目的

- 1-1 . 地域協働センター：事務局機能
- 1-2 . 地域協働センター：役割・運営
- 1-3 . OIU・OICキッズキャンパスの循環メカニズム
- 1-4 . OIU・OICキッズキャンパスの活動の変遷
- 1-5 . 地域のみなさまからのメッセージ
- 1-6 . これまでの取り組みモデル

2. 「学生主体企画」の事例紹介

- 2-1 . 活動の年間計画
- 2-2 . 2022年度「縁日」
- 2-3 . 2022年度「ニュースポーツ大会」
- 2-4 . 2022年度「お楽しみ会」
- 2-5 . 2023年度「大学生のお姉さん、お兄さんと一緒に遊ぼう」

1.目的

子どもたちへの学習支援と居場所づくりを目的に2017年4月から開始しました。
守口市立よつば小学校の3年生から6年生までの子どもたちがキャンパスに集まり、
学生ボランティアと一緒に、毎月違った体験型の「学び・食育・遊び」を行うプログラムです。

大阪国際大学

大阪国際大学短期大学部

キッズキャンパス



守口市立

よつば小学校

守口市

社会福祉協議会

守口市民生委員

児童協議会

1-1.地域協働センター：事務局機能

学生のボランティアバンク(ボランティアの登録システム)の事務局となり、全体をコーディネートしている。

地域協働センター (全体の事務局)

全体のコーディネート
(統括運営)

活動の場

学生有志 主体型 (担当運営)	学科・クラブ 主体型 (担当運営)
ボランティアバンク学生 (ボランティアの登録システム)	

===
活動に
繋ぐ
===

- ・本学キャンパス
- ・守口市立よつぼ小学校
- ・守口市東部エリアコミュニティセンター

対象者

守口市立よつぼ小学校
3年生～6年生

1-2.地域協働センター：役割・運営

・役割

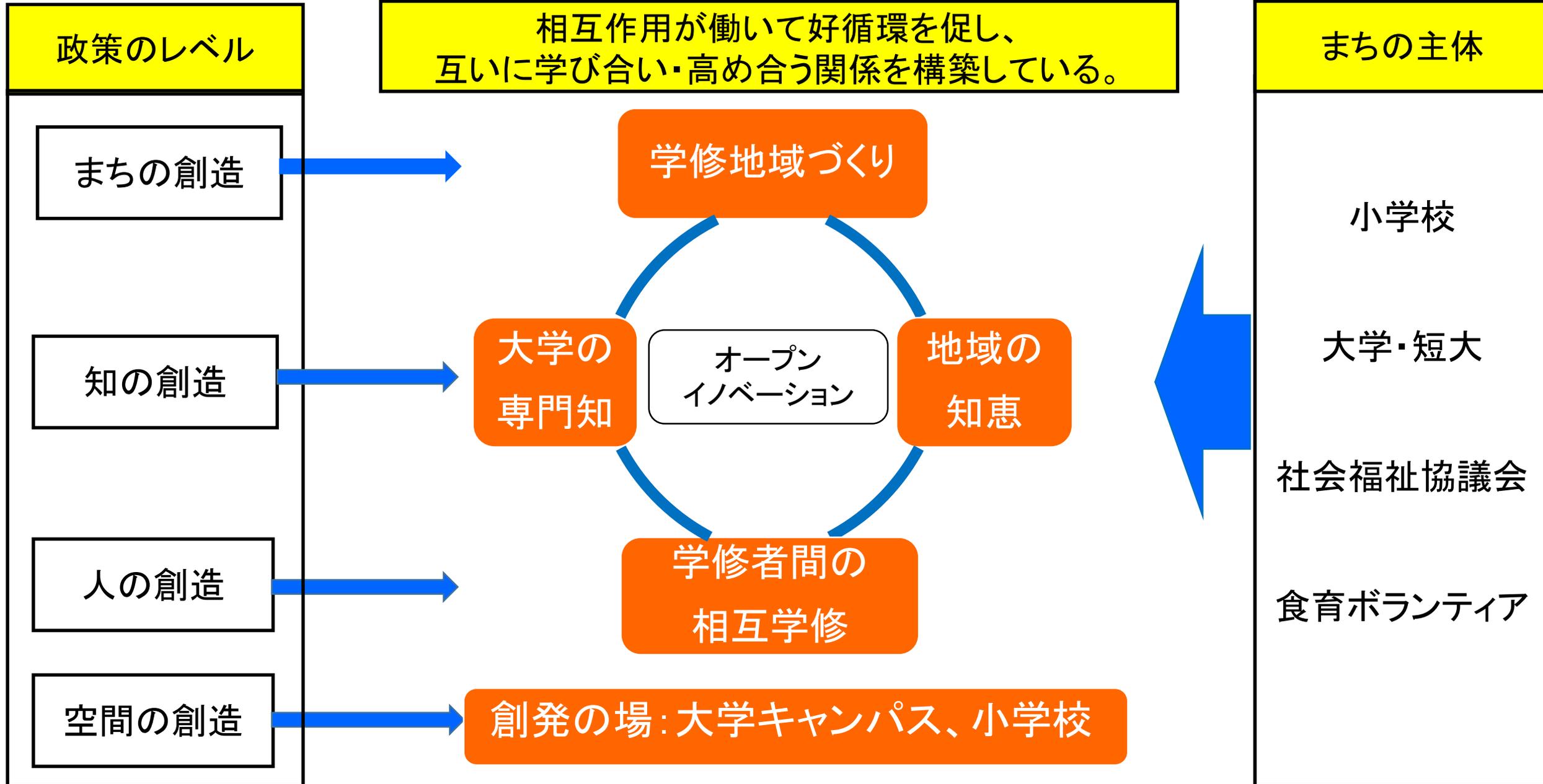
キッズキャンパスの企画概要の年間計画を前年度に決定し、2本柱として「学生主体型」と「学科・クラブ主体型」を組み、各主体へ依頼をかける。

・運営

当センターが事務局として統括運営を行う。

その下で、2本柱の各主体が具体的運営を行う。

1-3.OIU・OICキッズキャンパスの循環メカニズム



1-4.OIU・OICキッズキャンパスの活動の変遷

2017・2018年度	2019年度 Beforeコロナ	2020・2021年度 Withコロナ	2022・2023年度 Afterコロナ
<u>対面式の活動</u> 子どもたちへの 学習支援 居場所づくり	<u>対面式の活動</u> プログラム 1) 学生主導型 2) 学科連携型 3) クラブ連携型 4) 守口市社会福祉 協議会主導型 5) 食育ボランティア 主導型 6) 南山城村自然体験	<u>回復力のある活動</u> 「空間的」距離の置換 大学キャンパス ↓ 各家庭 「心理的」距離の置換 対面・ふれあい ↓ 動画配信	<u>回復力のある活動</u> プログラム 1) 学生主体企画 <u>※大きく成長</u> 2) 学科主体企画 3) クラブ主体企画

1-5. 地域のみなさまからのメッセージ



守口市立よつば小学校
校長 横山 美香 さん

本校の3年生から6年生の子どもたちを対象に、学生さんとのふれあいを通じた居場所づくりをテーマとして、大学ならではの様々なことが体験できるよい学びの場、楽しい交流の場となっています。



守口市社会福祉協議会
事務局長 島野 洋司 さん

子どもをはじめ、社会福祉協議会や民生委員、その他近隣の人々との交流から、学生さんたちが地域の多様な世代の人との接し方について実践で学ぶことは、社会に出てからも大いに役立つと思います。



守口市民生委員児童委員協議会
副会長 大井 由喜子 さん

学生さんたちはこの活動から優しさと思いやりの心を育み、社会に出てからもそれを活かしてほしいと思います。また、わたしたち民生委員も地域の子どもたちととても親しくなり、まちであいさつされることが増えました。

1-6.これまでの取り組みモデル

「学生主体企画」



「学科・クラブ主体企画」

2. 「学生主体企画」の事例紹介

「学生主体企画」、「学科・クラブ主体企画」のうち、

学部・学科・学年の枠を超えて学生がつながる

「学生主体企画」の事例紹介



2022年度、2023年度

2-1.活動の年間計画

4月 地域協働センターから関連する主体へ活動参加の依頼を掛ける。

5月 学生有志での参加を呼び掛けて、集まった学生で企画準備を始める。

6月 「学生有志企画」準備開始

7月 「学生有志企画」開催

8月 「学科・クラブ主体型」開催

9月 「学科・クラブ主体型」開催

10月 「学生有志企画」開催

11月 「学科・クラブ主体型」

12月 「学生有志企画」開催

1月 「学科・クラブ主体型」開催

2月 「学科・クラブ主体型」開催

3月 「学科・クラブ主体型」開催

2-2.2022年度「縁日」

<h2>企画立案</h2>	<p>コロナ渦で制限されている子ども達に夏の思い出をつくってあげたい。 わなげ、スーパーボール、コイン落とし、ピンポンカップイン、射的、お菓子引きの6つのブースを設けた。 宣伝方法は、チラシを作り、小学生の下校時に配布しに行った</p>	
<h2>準備</h2>	<p>6月後半から8月末に定期的に集まり準備を行ってきた。 6つのゲームブースを決定後、それらの作成に取りかかった</p>	
<h2>当日運営</h2>	<p>当日は見込み人数よりも多い300人以上の児童の参加があった。想像以上の人数の参加であったため、当日は景品が足りなくなったり、ブースの列が長くなるトラブルもあったが臨機応変に対応をすることができた。 終わりには、「夏の思い出ができて嬉しいです」といってくれた児童がおり、とても嬉しい気持ちになった。</p>	
<h2>振り返り</h2> <ul style="list-style-type: none">①良い点・継続すること②課題、改善点③次にすること	<ul style="list-style-type: none">①景品が足りなくなるトラブルもあったが、買い足しにいたり、他の景品で補ったりと臨機応変に対応ができた②長蛇の列の最後尾が分かりにくかったこと③カラーコーンなどを利用していきたい	

活動紹介

学生たちは、6月から夏休みの期間も定期的に集まり、イベントの発案、企画、チラシのデザイン、店舗作成、運営と全てのゲームを手作りし、試行錯誤しながら「実践的な学び」を修得することができました。また、子どもたちは、輪投げ、射的、ひもひきなど学生手作りのゲームに大喜びでした。閉会式では、よつば小学校の校長先生から学生へ感謝と労い、今後も連携強化していきたいことの感想をいただきました。

内容: スーパーボール掬い、輪投げ、ひもひき、ピンポンカップイン、射的、コインおとし

日程: 9月10日

場所: よつば小学校中庭

参加: 大学生16人、小学生300人



チラシのデザインと作成: 皆木秋桜乃さん

学生の感想

小学校の先生、児童、そして一緒にやり遂げた仲間が嬉しそうな顔をしていたことが何よりも嬉しかったです。

3ヶ月間、縁日企画に参加して、貴重な経験を積むことができました。
一から計画を立てて実行して成功に終わらすことができたことは価値がありました。

企画、準備、巻き込み、宣伝など、日々積み重ねた結果が当日のイベントに大きく影響することを学びました。



よつば小学校 濱口校長先生から学生へ感謝と労いのお言葉をいただきました。

2-3.2022年度「ニュースポーツ大会」

企画立案	低学年はキンボール、高学年はモルックを行った。	
準備	3人の学生が主体となり、種目を決定した後に審判やルール説明、タイムキーパーなどといった役割を決めた。	
当日運営	始まりには、ガムテープに名前を書いて配布した。学生と児童の間で名前が分かり、コミュニケーションをはかることに繋がった。 児童は普段、行うことのない種目を経験して楽しんでいた。 当日、体調不良の子が出てしまう場面もあったが学生がついてあげ、保護者の方への状況説明、お迎えの連絡もしっかり行えた。	
振り返り ①良い点・継続すること ②課題、改善点 ③次にすること	①体調悪そうな子や怪我している子がいなかしっかりと周りを見れていた ②低学年、高学年で種目を決めていたが、途中で交代しても良かったのかなと感じる。 ③1つの種目のみならず、他種目も用意した方が飽きずに楽しめた。	

活動紹介

学生主体によるOIU/OICキッズキャンパス「ニュースポーツ」を開催しました。
学生たちは、小学生向けにルールのアレンジ、役割分担、安全配慮など全ての企画運営を行い、小学生からは次回も開催してほしいと大変好評でした。最後は食育ボランティアの皆様からカレーのお弁当をいただきました。

内容: キンボール、モルック

日程: 10月1日

場所: 守口市東部エリアコミュニティセンター

参加: 大学生11名、小学生21名



学生の感想

子どもたちが安全に楽しく当日をすごしてもらうために学生たちで何度も話し合い、試行錯誤の上、様々なことを決めました。当日、学生と小学生との交流が深まりよかったです。



2-4.2022年度「お楽しみ会」

企画立案	<p>じゃんけん列車、火水木、ポートボール、ジェスチャーゲーム、ビンゴを行った。 今回も同様、チラシを制作し、配布を行った。</p>	
準備	<p>スケジュールを立てた後には、誰が審判や得点係、ルール説明を行うのかを決めた。 当日は学生それぞれが、決められた役割をこなすことができた。 また、今回から名前を呼び合えるように名札を取り入れたため、トトロの名札を100枚以上制作した。</p>	
当日運営	<p>50人以上の児童の参加があった。 イベント終了後には、「またやって欲しい！今日は楽しかった」という声が多くあった。 また、トトロの名札も大人気で、子ども達が持って帰ってくれたため、倍以上用意していた名札が全て渡った。</p>	
振り返り ①良い点・継続すること ②課題、改善点 ③次にすること	<p>①コミュニケーションをはかるために名札を取り入れたこと。 ②時間配分がうまく行かず、1つの種目を消してしまったこと。 ③キツキツなスケジュールを組まないこと。</p>	

活動紹介

小学生向けにルールのアレンジ、役割分担、安全配慮など全ての企画運営を行い、小学生からは次回も開催してほしいと大変好評でした。

内容:じゃんけん列車、火水木、クイズ、ジェスチャーゲーム、ポートボール、ゴロゴロドカンドッチビー、ビンゴ

日程:12月17日

場所:よつば小学校の体育館

参加:大学生10人、小学生56人

よつば小学校の
児童様 保護者様

OIU/OIC
キッズキャンパス

BINGO BINGO

お楽しみ会

開催日時:12月17日(土)10:00~12:30
※集合時間:8:30~9:45

開催場所:よつば小学校 体育館

申込方法
下記の方法でお申込みください。右のQRコードを読み取る=メールが起動=指定項目を入力=メールを送信

※QRコードが読み取れない場合
下記をご入力の上、件名を「OIU/OICキッズキャンパス登録申込み」として、collabo@oiu.jpまでお申込みをお願いします。
記載内容:お子様の氏名・学年・性別
保護者様氏名 電話番号 メールアドレス

本プログラムで大学側が撮影した写真・動画を本学HPで掲載しますのでご理解をお願いします。
主催:OIU/OICキッズキャンパス実行委員会(大阪国際大学・短期大学部、よつば小学校、
守口市社会福祉協議会、守口市民生委員児童委員協議会)
お問合せ先:大阪国際大学・大阪国際短期大学部 地域活動センター
電話番号:06-6902-0617



チラシのデザインと作成:皆木秋桜乃さん

学生の感想

関わりのなかった人と繋がりが出来たり、子どもたちの楽しそうな顔を見てやりがいを感じた。ドッチビーや時間で終わることを伝えるとまたやって欲しいとの声があって嬉しく思った。

子供たちをまとめることがどれだけ大変か、よくわかりました。実は少し小学生の子供には苦手意識がありましたが、みんな素直な子ばかりでとても楽しかったです。

「楽しかった!」、「またやってほしい!」との子どもたちが言ってくれてとても嬉しかったし、可愛かった。また、ビンゴの際に、子どもたちの景品がほしそうな顔を見て、買い出しの時に学校までお菓子を運ぶ大変さが一気に飛んでいき、試行錯誤してもっと子どもたちの喜ぶ顔が見たいと思った。



2-5.2023年度「大学生のお姉さん、お兄さんと一緒に遊ぼう」

企画立案	大学生と小学生の 交流の場 。今年からは制限なしでの開催。じゃんけん列車、鬼ごっこ、ポートボール、ドッジボールで遊んだ。小学校校門前にチラシ配布。	
準備	リーダーと先生の指揮のもとチラシ製作からゲームの内容や役割分担など 2カ月 かけ準備。授業の合間や昼休みなど隙間時間で打合せ。	
当日運営	当日は完全に 学生主体 での運営。	
振り返り ①良い点・継続すること ②課題、改善点 ③次にすること	①かなりの暑さだったため水分補給の時間を予定よりこまめに長い時間とった。各種目リーダーを主に指示する人が常にいた。 ②マイクの音が小さい。スポーツがメインのため男子児童が積極的に女子児童がボールに触れられていない場面があった。 ③マイクの音量。できるだけ多くの方が気軽に参加できる企画。	

活動紹介

学生たちは、小学生向けにルールのアレンジ、役割分担、安全配慮など全ての企画運営を行い、小学生からは次回も開催してほしいと大変好評でした。

参加：学生16名、小学生18名

場所：よつば小学校の体育館

プログラム：じゃんけん列車、ポートボール、おにごっこ、ドッチボール



学生の感想

「楽しかった!」、「またやってほしい!」との子どもたちが言ってくれてとても嬉しかったし、可愛かった。また、ビンゴの際に、子どもたちの景品がほしそうな顔を見て、買い出しの時に学校までお菓子を運ぶ大変さが一気に飛んでいき、試行錯誤してもっと子どもたちの喜ぶ顔が見たいと思った。



学部・学科・学年の枠を超えた学生のつながりが育む 人の未来、まちの未来

